関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年11月6日）

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00749.html

記事ページ本文

現在位置
トップ
>
会見・報道・お知らせ
>
大臣記者会見等
>
関芳弘 文部科学大臣の会見
> 関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年11月6日）
関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年11月6日）
令和8年11月6日(金曜日)
教育、文化
キーワード
「書道」のユネスコ無形文化遺産への登録に関する勧告、「書道」を取り巻く課題に対する受け止め、学校教育における「書写」「書道」の役割と意義、米国Google社が公表した学習アカウントにおけるインターネット検索やAIの利用制限への対応方針
関芳弘文部科学大臣記者会見映像版
令和8年11月6日（金曜日）に行われた、関芳弘文部科学大臣の記者会見の映像です。
令和8年11月6日関芳弘文部科学大臣記者会見（※「YouTube」文部科学省動画チャンネルへリンク）
関芳弘文部科学大臣記者会見テキスト版
後日、アップロードします。
ページの先頭に戻る
お問合せ先
大臣官房政策課広報室
（大臣官房政策課広報室）
ページの先頭に戻る
文部科学省ホームページトップへ

関芳弘文部科学大臣記者会見録（令和8年11月6日） YouTube字幕

https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00749.html

YouTubeの日本語字幕

【YouTubeの日本語字幕・公式会見録ではありません】

会見ページ: https://www.mext.go.jp/b_menu/daijin/detail/mext_00749.html

字幕本文をそのまま掲載しています。自動生成字幕には誤認識が含まれます。数字・固有名詞は公式会見録と照合してください。

動画: https://www.youtube.com/watch?v=qjvU1cmzck0

字幕の種類: YouTube自動生成字幕

取得日時: 2026-11-07T01:12:19.152738+00:00

[00:00:01] はい。
[00:00:02] では、あの、冒頭私から1件、えー、
[00:00:04] 申し上げたいと思います。
[00:00:06] えー、日本からあの、ユネスコ無形文化
[00:00:10] 遺産の
[00:00:11] 提案を
[00:00:12] 行っておりました書道についてでござい
[00:00:14] ます。
[00:00:15] えー、評価機関のおー、事前審査の結果
[00:00:19] 無形文化遺産の代表一覧表への記載が
[00:00:22] ふさわしいとのおー、勧告を受けました。
[00:00:26] えー、書道は
[00:00:27] えー、筆や
[00:00:29] 墨を用いてえー、伝統的な筆遣いや技法に
[00:00:33] より
[00:00:34] 文字を表現する我が国の貴重な文化で
[00:00:37] ございまして
[00:00:38] えー、今回の
[00:00:39] あの、勧告は大変喜ばしいことでござい
[00:00:41] ます。
[00:00:43] 生成AIとデジタル技術が進展をする時代
[00:00:47] だからこそ
[00:00:48] おー、感性や表現力が培われる書道は
[00:00:52] ますます重要になっております。
[00:00:56] えー、今後は11月30日から
[00:00:59] あ、中国アモイで開催される政府間委員会
[00:01:02] で正式決定される予定でございます。
[00:01:06] えー、登録に向けましてしっかりと対応し

[00:01:08] てまいりたいと思います。
[00:01:10] えー、私からは以上でございます。
[00:01:13] あ、ありがとうございます。えー、では
[00:01:15] 幹事社からえー、引き続き
[00:01:17] 質問させていただきます。えっとあの、
[00:01:19] 書道に関連してなんですけれども、ま、
[00:01:21] 国内では書道人口が減少してですね、
[00:01:24] あの、ま、筆や墨などの書道用具作る職人
[00:01:27] の高齢化や後継者不足というのも、ま、
[00:01:29] 課題になっています。でま、こうしたま、
[00:01:32] 書道を取り巻くま、現状についてあの、
[00:01:35] ま、改めて今どのような認識を持たれて
[00:01:38] いるか、受け止めていらっしゃるかお教え
[00:01:39] いただければと思います。
[00:01:41] はい。
[00:01:42] えー、書道は我が国の伝統的な生活文化の
[00:01:46] 1つといたしましてその継承と振興を図っ
[00:01:49] ていくことは
[00:01:50] 重要であるあるとそのように認識をいたし
[00:01:53] ております。
[00:01:54] ま、一方でご指摘のようにあ、書道の
[00:01:57] 担い手の不足との様々なあの、があります
[00:02:01] ことも承知をいたしております。
[00:02:05] 書道の継承と振興を図りますために
[00:02:08] え、これまで書道に触れる機会の少なかっ
[00:02:10] た方々にも
[00:02:12] 関心を持っていただくことが必要であると
[00:02:16] 考えております。
[00:02:18] 書道を取り巻く課題を踏まえまして
[00:02:21] 今回の
[00:02:23] 書道のユネスコ無形文化遺産への登録勧告
[00:02:26] を契機といたしまして
[00:02:28] え、関係団体や関係機関と連携をしながら
[00:02:33] 例えば書道を始めとした生活文化と異なる
[00:02:37] 芸術分野
[00:02:38] との組み合わせによります新しい魅力発信
[00:02:42] の取り組みや
[00:02:44] 書道等の伝統文化を親子で体験する機会を
[00:02:48] 提供する取り組みへの支援など
[00:02:51] 国内外におけます書道の魅力発信や理解
[00:02:54] 促進などに取り組んでまいりたいと考えて
[00:02:57] おります。
[00:02:58] はい、以上です。
[00:02:59] ありがとうございます。はい、それでは
[00:03:01] 各社様から質問お願いします。はい、
[00:03:04] どうぞ。
[00:03:05] はい。
[00:03:08] 東京新聞のと申します。よろしくお願いし
[00:03:10] ます。
[00:03:12] 書道についての質問です。あの、日本では
[00:03:14] 小学生から学校教育の中で書道に親しんで
[00:03:17] いますが、パソコンの普及などで近年は筆
[00:03:20] を手に取る機会が減っているのではないか

[00:03:22] と思います。
[00:03:23] 若い世代への書道の継承に向けて次期学習
[00:03:26] 指導要領を踏まえた学校教育における書者
[00:03:29] 書道にはどのような役割や意義があるとお
[00:03:31] 考えですか。
[00:03:32] はい。
[00:03:33] [鼻息]
[00:03:36] 毛筆を用いた書者書道は
[00:03:40] 文字を正しく整えて書く力をはぐくむだけ
[00:03:44] ではなくて
[00:03:45] 文字文化への理解や
[00:03:48] 豊かな感性の寛容にも資する大切な学びで
[00:03:52] あり
[00:03:53] ギガスクール構想で1人1台端末が導入さ
[00:03:57] れて以降も
[00:03:58] 学習指導要領に基づき確実な指導を推進て
[00:04:03] いるところでございます。
[00:04:05] ご指摘のように社会全体で
[00:04:07] え、タイピング等による文字入力の機会が
[00:04:10] 増える中にありましても
[00:04:13] 正確に書く力を身につけることや
[00:04:16] 我が国の文字文化
[00:04:19] について実感を伴った理解を深めることは
[00:04:22] 重要であると考えております。
[00:04:25] で、次期学習指導要領につきましては
[00:04:29] こういった観点に加えまして
[00:04:32] デジタル時代だからこそ新体制も合わせて
[00:04:36] 重視する方針も打ち出しておりまして
[00:04:39] 書写書道の丁寧な指導も引き続き推進する
[00:04:42] 方向で
[00:04:43] 検討がなされていると承知いたしており
[00:04:46] ます。
[00:04:47] はい。
[00:04:48] よろしいでしょうか。
[00:04:50] はい。
[00:04:51] はい、どうぞ。
[00:04:57] おはようございます。共同通信の相澤
[00:04:59] です。
[00:05:00] すいません。えっと、IT大手の
[00:05:01] Googleがですよね、今月3日に世界
[00:05:04] 各国[咳払い]の小中校の児童生徒が校内
[00:05:07] で、校内や自宅で使う学習用アカウントで
[00:05:10] インターネット検索や人工知能の機能を
[00:05:14] 利用を制限する方針を発表しました。
[00:05:16] ま、来年に導入する予定だと報じられてい
[00:05:19] ますが、日本の学校現場にも影響が及ぶ
[00:05:22] 可能性があると見られていて
[00:05:24] 今後あの日本の小中学校に、小中学校高校
[00:05:28] もですね、に対して何らかの対応を求める
[00:05:30] 意向はありますでしょうか。お伺いいたし
[00:05:32] ます。
[00:05:34] はい。
[00:05:39] はい。

[00:05:40] え、個別のあの民間事業者によります
[00:05:43] サービス仕様の変更について
[00:05:45] ま、具体的なコメントは差し控えたいと
[00:05:48] 思いますが
[00:05:49] 11月3日付けのGoogle社の公表
[00:05:52] 内容によりよりますれば学校が
[00:05:57] 教室内でAIをコントロールできるように
[00:06:00] するための措置
[00:06:01] ということで承知をいたしております。
[00:06:04] で、文部科学省といたしましては、
[00:06:07] あ、今後の具体的なサービス内容やその
[00:06:09] サービスの導入時期について
[00:06:12] 注視をしてまいります。
[00:06:14] また学校への影響等につきましても適切に
[00:06:17] 検討をしてまいります。
[00:06:19] で、また現在文部科学省では
[00:06:22] AIガイドラインの改定に向けて検討を
[00:06:25] 行ってるところでございます。
[00:06:27] 改定にあたりましてはAIサービスを開発
[00:06:31] 提供する事業者向けの留意事項についても
[00:06:35] 新たに盛り込む方向で検討してるところで
[00:06:39] ございます。
[00:06:40] え、今回のような例も踏まえつつ年度内に
[00:06:43] 改定に向け検討を進めてまいります。
[00:06:46] はい。
[00:06:49] はい。
[00:06:50] よろしいでしょうか。
[00:06:54] 他質問よろしいですか。
[00:06:57] じゃあこれで
[00:07:00] はい。ありがとうございました。
[00:07:02] はい。どうもありがとうございました。